

函館市交通事業経営計画（第2次）

進行管理

- 1 進行管理の説明（平成26年4月改定）
- 2 平成25年度計画における局内評価結果一覧
- 3 進行管理シート
- 4 進行管理作業スケジュールについて（平成26年度）
- 5 各対策の担当課
- 6 参考資料（平成26年8月）

函館市企業局

○進行管理の説明

1. 進行管理の目的

本進行管理は、「函館市交通事業経営計画（第2次）」（平成22年3月策定。以下「経営計画」という。）に掲げた、

- ・ 現行の営業路線を維持することを基本とする効率的な運行および経営の実施
- ・ 高齢社会やバリアフリー対策など利用者の観点からの魅力あるサービスの提供
- ・ 単年度収支の黒字化を基本とする経営の維持
- ・ 年次計画に基づく累積資金不足額の解消

これらを基本として実施する各対策の実績および成果を評価・検証することにより、経営計画の適切な進行管理を行おうとするものである。

2. 進行管理の評価体制

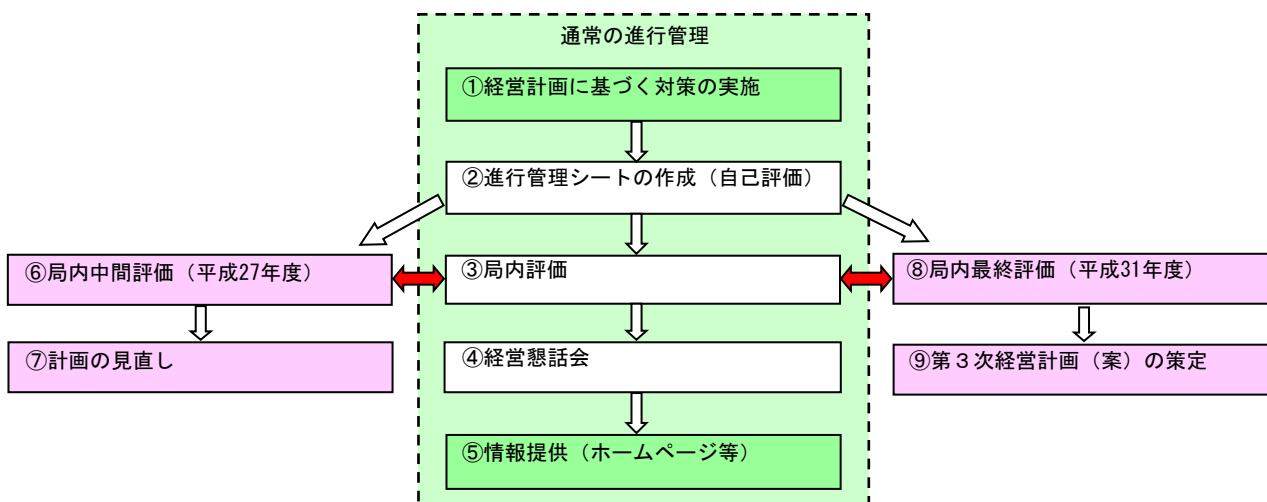
- ①各対策を担当する主管課が自己評価を実施する。
- ②自己評価結果を踏まえ、企業局内で再評価（以下「局内評価」という。）を実施する。
- ③局内評価結果に対する、函館市企業局経営懇話会（以下「懇話会」という。）の意見等を聴き、次年度からの実施計画等へ反映させる。

3. 進行管理の流れ

経営計画に定められた各対策の実績および成果を毎年度、評価・検証し、実施計画と実績に乖離が生じた場合には、その原因を分析するとともに、その結果に基づき実施計画の見直し（原則として平成27年度とする）や次期経営計画に反映させることとする。

なお、実施計画・対策目標の評価結果については、ホームページ等により公表するものとする。

函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理フロー



○通常の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→③局内評価→④経営懇話会→⑤情報提供→①

○平成27年度の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→⑥局内中間評価→⑦計画の見直し→④経営懇話会→⑤情報提供→①

○平成31年度の進行管理

①経営計画に基づく対策の実施→②進行管理シートの作成→⑧局内評価最終評価→⑨第3次経営計画(案)の策定→④経営懇話会→⑤情報提供

4. 各対策の評価方法

評価に当たっては、各対策の実施計画・対策目標に対しての実績・成果について「函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理シート」（別添様式）により評価・検証するものとする。

5. 各対策の評価

自己評価および局内評価は、下記により実施するものとし、評価理由および今後の方向性についても整理することとする。

なお、公表する評価は、局内評価時点のものとする。

A：「完了した」

B：「計画どおり進んでいる」または「成果が上がっている」

C：「計画に遅れが生じている」または「あまり成果が上がっていない」

D：「計画が滞っている」または「全く成果が上がっていない」

E：「外的要因等により休止・中止する」

6. 懇話会意見等

局内評価の結果に対しては、懇話会からの意見等を聴くものとし、個別に出された委員からの意見等をもとに懇話会で集約するものし、集約された意見等は、進行管理シート（および項目一覧）の「経営懇話会意見等」の欄に記載し、公表するものとする。

なお、懇話会から提出された意見等が、次年度の実施剣客・対策目標に反映できると判断したものについては、実施計画に盛り込むこととする。

【意見等の記入方法】

意見等の提出にあたっては、評価結果に応じて次に記載のア～クで回答することを基本とする。ただし、より具体的な提案や助言など、これらの区分によらない意見等がある場合は、ケとして具体的な意見等を記載することを基本とする。（空欄で提出のあった場合は「特に意見等なし」として取り扱うものとする。）

評価結果	記入する記号等	左の記号等の意味	意見等欄への記入例
A	ア	完了したことから特に意見等はない。	ア（または空欄）
B	イ	計画どおり進んでいる（成果が上がっている）ことから、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	イ（または空欄）
C	ウ	計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）が、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	ウ（または空欄）
	エ	計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。	エ 〇〇してはどうか
D	オ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）が、今後の方向性（実施計画・対策目標）のとおり進めていくこと。	オ（または空欄）
	カ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を実施してはどうか。	カ 〇〇してはどうか
	キ	計画が滞っている（全く成果が上がっていない）ことから、〇〇を中止（休止）してはどうか。	キ 〇〇
E	ク	状況から休止（中止）は妥当と考える。	ク（または空欄）
何れの場合でも	ケ	上記何れにも該当しない場合。記号「ケ」の後ろに文章で記入。 （対策に対する具体的な進め方や意見等を記入）	ケ 〇〇については、△△していく方向でどうか

7. 進行管理のスケジュール

進行管理のスケジュールは、原則として次のとおりとする。

作業内容	平成24～31年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①経営計画に基づく対策の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
②進行管理シートの作成（自己評価）	●	●										
③進行管理シートの取りまとめ			●									
④担当各課ヒアリング			●									
⑤局内評価			●									
⑥経営懇話会資料作成			●									
⑦経営懇話会				●			●				●	
⑧情報公開					●							

函館市交通事業経営計画（第2次）進行管理スケジュール

8. 各対策の担当課

別紙「函館市交通事業経営計画（第2次）における各対策の担当課」のとおりとする。

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理

【平成25年度計画における局内評価結果一覧】

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成25年度)

対策項目・対策内容		主管課(担当)	前回評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
1	財政収支試算等の計画・実績	P.1 P.2 経理課(経理) 施設課	B	B	計画どおりの実績となった。	今後も引き続き、計画に基づく事業運営を進める。	
2	収入に係る対策						
(1) 料金制度について							
	(ア) 均一料金制度についての検討の継続 ●利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。	P.3 経理課(経理)	B	B	平成26年度からの消費税率改定に伴う認可申請にあたりODデータの収集・分析を行ったことから、均一料金制度の検討材料として活用可能となったほか、運賃改定に伴う函館バスとの協議において、今後、運賃に関する様々な協議を行うことで合意した。	今後もODデータの収集・分析を続けていくとともに、函館バスとも協議を行い、総合的な運賃体系の検討を進めていく。	
	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し ●「エコロジー・バス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。	P.4 経理課(経理)	E				
	(ウ) ICカード等新媒体の調査研究 ●ICカード、モバイル等新媒体の調査・研究を行う。	P.5 事業課(営業)	B	B	初期投資に多額の費用を要し交通事業者単独での導入は難しいことから、市・局・函館バスで国の補助制度を活用した導入等の協議を進めるとともに、道内の先行導入事業者(札幌市交通局・旭川電気軌道・道北バス)への導入時および導入後の状況等の調査を行った。また、ICカードシステムの関係業者からの情報収集を行った。	市や函館バスと連携を図り、国の補助制度を活用したICカードシステムの導入について検討を進める。	
(2) 乗客サービスについて							
	(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底 ●職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。	P.6 総務課	B	B	職員の接客マナーの向上について、全乗務員を対象とした研修を行った。	平成24年度から実施している研修は、接客マナーの向上のみでなく、接客に関する具体的事例の情報交換および職員間での対応方針の統一化に役立っている。引き続き、このように効果的な接客向上のための研修を実施していくとともに、市等の研修も活用しながら職員全体の接客マナーの向上を図っていく。	
	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築 ●乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。	P.7 事業課(電車)	B	B	イベントの開催時に増車運行を行うなど、効率的な運行に努めた。 ダイヤ改正等については、これまで実施した増車・間引き運転等の検証を進めるとともに、平成28年3月に予定されている北海道新幹線の開業による乗客動向を見ながら検討することとした。	今後も利用者のニーズに合わせた運転を計画し、利便性の向上を図るとともに、北海道新幹線の開業等による乗客動向等の把握に努め、効率的・効果的な運行ダイヤの改正等について検討する。	
	(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策 ●電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。	P.8 事業課(営業)	B	B	インターネットに接続できる無線LANの通信事業者が増えたことにより、更に通信サービスの向上が図られた。また、タブレット型端末を利用した情報発信の手法について調査した。(H23:Hakodate City Wi-Fi, H25:ソフトバンク Wi-Fi)	今後も引き続き、情報端末などを利用した情報発信の手法を検討し、利用者が電車内で情報を収集しやすい場となるように努める。	
	(イ) 他の交通機関との連携強化 ●乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。	P.9 事業課(営業)	B	B	従前から実施している函館バスとの連携に加え、企業局が12月に実施している深夜便運行(ミッドナイトトラム)に合わせて、函館バスによる新たなミッドナイトバスの運行が開始され、五稜郭での接続運行を行った。また、函館市を含めた5市町でJR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「ほこだて旅するバスポート」については、本格的に通年で販売されることとなった。	今後も函館バスとの連携による運行を行っていくほか、北海道新幹線開業に向け関係交通機関との連携を強化していく。	

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成25年度)

対策項目・対策内容	主管課(担当)	前回評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
2 収入に係る対策						
(3) 広告料収入について						
(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進 ●電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。	P.10 事業課(営業)	B	C	魚市場通電停(函館信用金庫)は更新されたが、五稜郭公園前電停(野村證券)については、9月で契約が終了した。また、電停周辺企業への制度の周知は図られていると考えるが、利用の申込みが無い状況にある。	電停ネーミングライツ制度の利用促進が図られるよう、PR効果が高いと思われる電停周辺への移転や新規開業した企業を中心とした勧誘に努めるとともに、電停広告などを含めた広告効果などを検討する。	
(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売 ●車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。	P.11 事業課(営業)	B	B	企業等とのタイアップイベントを通じて、新たな手法を試みるなど広告の利用促進が図られた。	電車を利用した広報活動やイベント等での活用について、広告代理店や企業への周知を図りたい。また、低床車両が3両となったことから、この車両を利用した新たな広告商品について検討する。	
(ウ) 広告料金の改定について検討 ●広告料金の単価等の改定について検討する。	P.12 経理課(経理)	E				
(イ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売 ●電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。	P.13 事業課(営業)	B	B	意匠を活用した100周年記念商品の委託販売を実施したほか、独自の100周年記念商品も販売し、函館市電のイメージアップを図った。 なお、既存のオリジナルグッズについては、需要の高いものなどを継続して販売することで整理を進めた。	今後も引き続き、販売を継続するオリジナルグッズの整理を行うとともに、新規商品の開発や販売促進に努める。	
(4) 利用促進について						
(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進 ●環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。	P.14 事業課(営業)	B	B	昨年度と同様に、関係機関と協力して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。	今後も引き続き、関係機関との連携を図り、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかける。	
(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施 ●路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。	P.15 事業課(営業)	B	B	路面電車開業100周年イベントを開催したほか、路面電車感謝祭をはじめとする各種催しなどを継続実施した。	今後も引き続き、イベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。	
(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充 ●定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。	P.16 事業課(営業)	B	B	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区を中心に電車沿線のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行った。	電車を利用した市内観光など、積極的にPRを行っていく。	
(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大 ●沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。	P.17 事業課(営業)	B	B	電車沿線で開催される各種イベントの実施と連携を図り、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、買い物をしたお客様が市電一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックを受けられるサービスが実施された。また、7月に行われたGLAYのコンサートでは増車運行を行うとともに、オリジナル一日乗車券を作成し、函館空港や市内のホテル・旅館、函館駅前安全地帯などで販売を行ない、利用促進に大きな効果があった。	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。	
(ア) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進 ●旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。	P.18 事業課(営業)	B	B	前年度と同様に、車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案し、観光客等の利用促進に努めた。また、旅行代理店と連携し、平成26年度に予定されているクルーズ客船の定期寄港に向けて、市電を利用した函館の観光施設を巡るプランが新たに商品化された。(H25修学旅行 430件、H25ツアー32件)	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。	
(カ) 交通事業等についての情報発信の強化 ●市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。	P.19 事業課(営業)	B	B	路面電車開業100周年や毎年実施している記念事業、各種イベントへの取組状況、日常の話題等をフェイスブックで発信し好評を得た。また、交通部独自で運用していた函館市電のホームページについては、JIS規格への対応やページ読み上げ機能等があるシステムを導入し、平成26年度にリニューアルされる市ホームページへの移行作業を進めた。	今後も引き続き、インターネットの活用を図りながら、充実した情報発信に努める。	

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成25年度)

対策項目・対策内容	主管課 (担当)	前回 評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等
3 支出に係る対策						
(1) 効率化の推進について						
(7) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立 ●毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。	P.20 総務課	B	B	将来にわたって事業を継続していくため、職種変更試験制度の導入による人材確保を図るとともに、水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎや収納業務の効率化に向けた取り組みを行った。	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。	
(4) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制 ●技術職員、事務職員等の担当業務について、アウトソーシング推進の見地からの評価を行い、外注化・嘱託化を推進し、人件費総額の抑制に努める。	P.21 総務課	E				
(7) 事業経費等の総点検によるコスト縮減 ●事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。	P.22 総務課	B	B	消耗品や電力量の削減のほか、文書の運搬業務の見直し等、事務の見直しによるコスト縮減に取り組んだ。	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。	
(2) 建設改良について						
(7) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進 ●車両、線路、電路等施設について、日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため、改修・更新を進める。	P.23 施設課	B	B	計画していた事業を実施したほか、道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。	安全の確保と将来にわたる事業継続を担保するため、計画的な施設の改良・更新を進める。	
(4) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続 ●LRTシステム整備費補助金制度について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。	P.24 施設課	B	B	全国路面軌道連絡協議会などを通じて、補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。	引き続き、積極的な情報収集を行うとともに、各種団体と協力しながら、機会あるごとに国に対して要望を継続する。	

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の評価等一覧(平成25年度)

対策項目・対策内容	主管課(担当)	前回評価	評価	評価理由	今後の方向性	経営懇話会意見等	
4 一般会計からの補助							
(1) 施設改善関係に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.25	経理課(経理)	B	B	概ね計画どおりの補助金額となった。	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。	
(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について ●安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。	P.26	経理課(経理)	B	B	概ね計画どおりの補助金額となった。	経費節減に努めたうえで、一般会計へ要求していきたい。	
5 累積資金不足額の処理							
(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について							
(7) 一般会計補助金による年次的処理 ●市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。	P.27	経理課(経理)	B	B	平成25年度においては、計画を上回る不良債務の解消が図られている。	今後も一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。	
6 走行環境の改善							
(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について							
(7) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続 ●運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。	P.28	事業課(電車)	E				
(4) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化 ●自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。	P.29	安全推進課	B	B	軌道敷内における電車優先運行について、昨年度リニューアルした啓発リーフレットによりドライバーへの周知を図るため、交通安全運動の期間に直接配付したほか、自動車学校の高齢者講習やタクシー会社を通じて配付された。また、一部の交差点や駒場車庫前に設置されている路面電車専用信号の周知を図るため、ホームページに掲載した。	軌道敷内における電車優先運行の啓発リーフレットによる周知活動を継続的に実施する。	

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円,税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	2,735	2,745	10	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	15,853	14,272	-1,581	15,743	15,651	15,574	15,510	15,461	15,425
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-0.80	-5.83	-	-0.69	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32	-0.23
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	0	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	104	105	1	108	106	106	106	105	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	66	67	1	66	66	66	66	66	66
嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	38	38	0	42	40	40	40	39	39	
経常収支	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	977	1,010	33	968	963	954	948	943	942
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	917	939	22	907	901	892	886	880	878
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	300	302	2	321	314	313	302	316	301
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	209	219	10	230	223	222	212	226	211
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	1,277	1,312	35	1,289	1,276	1,266	1,250	1,259	1,243
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	1,168	1,167	-1	1,276	1,219	1,204	1,212	1,233	1,182
	人件費	611	592	626	610	558	538	567	555	-12	670	630	584	622	635	606
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	481	445	-36	489	487	493	505	511	517
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	8	8	87	52	0	26	36	0
	経費	453	433	448	449	449	435	442	430	-12	433	427	420	402	393	387
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	50	51	1	50	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	251	235	-16	246	244	240	225	220	217
	その他	151	150	148	162	144	149	140	144	4	137	133	130	127	124	121
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	160	182	22	173	163	200	188	204	188
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	61	46	-15	57	59	59	60	60	59
	うち支払利息	31	32	28	27	25	23	23	20	-3	21	26	28	28	28	28
	予備費															
経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	1,229	1,213	-16	1,333	1,278	1,263	1,271	1,292	1,241	
差引	1	40	-12	-4	45	111	48	99	51	-44	-2	3	-21	-33	2	
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	差引	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
純損益	118	158	106	81	163	204	166	192	26	74	116	121	97	85	111	
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	344	470	126	414	291	188	209	162	142
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	43	350	218	149	95	108	90
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	209	234	25	64	73	39	114	54	53
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	424	559	135	480	367	306	335	256	258
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224	143	141
	うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	159	163	4	130	114	122	111	113	117
差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-80	-89	-9	-66	-76	-117	-126	-94	-116	
補填財源	284	334	265	248	328	375	325	371	46	247	279	321	285	289	300	
単年度資金過不足額	149	190	148	125	246	285	246	282	36	181	203	204	159	195	184	
累積資金過不足額	-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	-383	-288	95	-202	1	205	364	560	743	
軌道事業分	31	72	61	112	189	305	317	493	176	380	465	551	592	669	743	
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-700	-781	-81	-582	-464	-346	-228	-110	0	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画

(単位:百万円,税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	100m	166m	+66m		200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所													
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所			1か所										
	駒場変電所改良							実施設計	実施設計		機器製作	取付等				
	電路改良															
	超低床電車購入							1両	1両					1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両						1両			
	電車車体大規模改修											2両	1両		1両	1両
建設改良費計	120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	136	179	43	350	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	65	89	24	0	18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	65	66	1	0	18	18	56	26	26
	工事負担金						33		57	57						
	自己資金		7		6		7		5	5						
	計	120	118	216	209	230	271	265	396	131	350	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表

(単位:百万円,税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	316	330	14	258	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	130	138	141	145	140	153	13	173	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	102	98	-4	85	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	65	66	1		18	18	56	26	26
基礎年金拠出金				3		13	9	13	4			9	9		
その他				5											
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	34	34	0	34	34				
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	34	34	0	34	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	122	94	-28	120	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	4	1	-3	2	1				
合計	381	376	414	378	445	430	471	458	-13	413	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画

(単位:百万円,税込)

区分	22年度		23年度		24年度		25年度			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画
前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	818	874	56	700	582	464	346	228	110
如															
理	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	118	93	-25	118	118	118	118	118
額	支払利息	7	2	6	1	5	1	4	1	-3	2	1			
	計	125	120	124	86	123	94	122	94	-28	120	119	118	118	110
	資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	700	781	81	582	464	346	228	110

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ア) 均一料金制度についての検討の継続					
対策内容	利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗客動向調査の実施 ○均一料金の試行等による基礎的なデータ収集		○収入への影響等の検討、庁内協議および方向付けの整理		○函館バスや一般会計との協議 ○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
実績・成果	○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	○局内の関係課で協議を行った。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成26年度からの消費税率改定に伴う認可申請にあたりODデータの収集・分析を行ったことから、均一料金制度の検討材料として活用可能となったほか、運賃改定に伴う函館バスとの協議において、今後、運賃に関する様々な協議を行うことで合意した。
今後の方向性	今後もODデータの収集・分析を続けていくとともに、函館バスとも協議を行い、総合的な運賃体系の検討を進めていく。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し					
対策内容	「エコロジー・パス(環境定期券)等」新たな料金割引制度の導入検討および通勤・通学定期等の割引率の見直しについて、検討を進める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○増客につながる割引制度・定期券の調査・研究			休 止	○制度実施の是非の決定 《実施の方向性の場合》 ○関係機関との協議 ○予算措置等	
	○「エコロジー・パス」導入について、関係部局・函バスとの協議	○調査、研究、協議結果に基づく庁内協議および方向付けの整理				
実績・成果	○交通局(当時)と協議のうえ、企画部企画管理課においてこれまでの調査・研究結果をまとめた。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。			

平成 25 年度

評 価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
-----	--

評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 格安で電車・バスへ乗ることができるエコロジー・パスについては、交通事業者だけでなく市の支援も必要であるが、市の財政状況が非常に厳しい状況であることや、現在市において総合交通施策の調査を行っていることもあり、当面検討を休止する。 また、定期券等割引率の見直しについても、消費税率改定等により今後の料金収入の動向が把握しづらいことなどから、当面検討を休止する。
------	---

今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 新たな割引体系検討の一環として、ICカードシステムの導入検討状況と合わせて料金優遇措置などの検討を行うこととする。
--------	---

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 状況により一度休止するのはやむを得ないと考えことから、今後の方向性のとおり進めて行くことが望ましい。
----------	--

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標				○局内協議および導入可否の整理	《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。	○関係機関での協議および道内の先行導入事業者への実態調査および協議を進めた。 ○ICカードシステムの開発業者への調査を行った。		

平成 25 年度


評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	初期投資に多額の費用を要し交通事業者単独での導入は難しいことから, 市・局・函館バスで国の補助制度を活用した導入等の協議を進めるとともに, 道内の先行導入事業者(札幌市交通局・旭川電気軌道・道北バス)への導入時および導入後の状況等の調査を行った。また, ICカードシステムの関係業者からの情報収集を行った。
今後の方向性	市や函館バスと連携を図り, 国の補助制度を活用したICカードシステムの導入について検討を進める。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ア) 職員の接客マナーと企業意識向上の徹底				
対策内容	職員全員に対し、乗客接客マナーの向上を図るとともに、企業意識の徹底に努める。また、利用者の意見等を積極的に伺うための方策を検討する。				
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○乗務員を対象とした接客研修を実施する。	○乗務員、窓口業務を中心とした接客研修を実施する。	○運輸サービス業に適した講師による接客研修を実施する。 ○ホームページ等による利用者の意見等を伺う方策を検討する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #ADD8E6;"> ○全職員を対象とした接客研修の実施 </div> 		
実績・成果	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。	○添乗指導での接客のあり方の実践指導を行った。 ○事故防止研修会開催時の接客研修を行った。 ○企業局および市役所で実施した接客研修やクレーム研修に乗務員、電車内勤者等の現場対応者を参加させた。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。	○運輸サービス業に適した講師による接客向上リーダーを対象にした研修と職場でのグループワーク等を行った。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
----	---

評価理由	職員の接客マナーの向上について、全乗務員を対象とした研修を行った。
------	-----------------------------------

今後の方向性	平成24年度から実施している研修は、接客マナーの向上のみでなく、接客に関する具体的事例の情報交換および職員間での対応方針の統一化に役立っている。引き続き、このように効果的な接客向上のための研修を実施していくとともに、市等の研修も活用しながら職員全体の接客マナーの向上を図っていく。
--------	--

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築					
対策内容	乗客需要に対する効率・効果的な営業時間、運行時分、本数・間隔等について検討を行い、運行体制の再構築を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標				○検証結果や乗客動向から、ダイヤ改正について検討する。		
実績・成果	○6年ぶりとなるダイヤ改正(大幅改正は平成5年度以来)を行った。 ○ダイヤ改正時に予想した運行密度の検証を行った。(区間時分延長により、乗り残しの発生がないか等)	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○運行実態調査を行い、所要時間等の乖離がないか調査をした。	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○今年度は、節電に合わせて間引き運転を行ったが、大きな混乱は無かった。	○時期に合わせた増車運転を行い、利用者ニーズを可能な限り取り込んだ。 ○昨年度に引き続き、節電に合わせて間引き運転を行ったが、大きな混乱は無かった。 ○北海道新幹線の開業後の乗客動向を検証したうえで、ダイヤ改正等を検討することとした。		

平成 25 年度

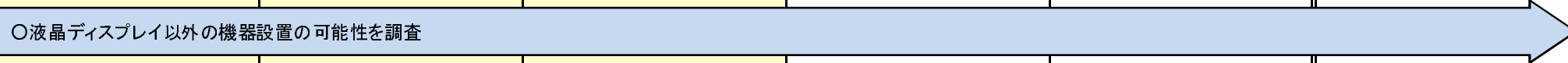
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	イベントの開催時に増車運行を行うなど、効率的な運行に努めた。 ダイヤ改正等については、これまで実施した増車・間引き運転等の検証を進めるとともに、平成28年3月に予定されている北海道新幹線の開業による乗客動向を見ながら検討することとした。
今後の方向性	今後も利用者のニーズに合わせた運転を計画し、利便性の向上を図るとともに、北海道新幹線の開業等による乗客動向等の把握に努め、効率的・効果的な運行ダイヤの改正等について検討する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策
対策内容	電車内の液晶画面や広告スペースを活用して、広く市民向けの市政情報や来訪者向けの地域・観光情報を積極的に発信する方策を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○液晶ディスプレイ以外の機器設置の可能性を調査 					
			○無料で閲覧出来る観光情報を発信するとともに、利用実績などを調査する。			
実績・成果	○液晶ディスプレイを15両の電車内に設置した。	○営業車両の全車両に対し、無線LANによるインターネットに接続出来る環境を整備し、通信サービスの向上を図った。	○利用実績等の調査を行った。 ○観光情報の発信を検討した。	○新たな通信事業者の無線LAN機器を設置した。 ○タブレット型端末を利用した情報発信について調査した。		

#REF!

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	インターネットに接続できる無線LANの通信事業者が増えたことにより、更に通信サービスの向上が図られた。また、タブレット型端末を利用した情報発信の手法について調査した。(H23: Hakodate City Wi-Fi, H25: ソフトバンク Wi-Fi)
今後の方向性	今後も引き続き、情報端末などを利用した情報発信の手法を検討し、利用者が電車内で情報を収集しやすい場となるように努める。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(2) 乗客サービスについて

対策項目	(エ) 他の交通機関との連携強化					
対策内容	乗客の利便性を増やすため、民営バスなど他の交通機関との連携を強化する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度	
実施計画・対策目標	○関係機関との協議および連携強化						
実績・成果	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。	○港まつりのイベント開催時において、乗客輸送量に対応するため、函館バスと連携して乗客輸送を行った。 ○レトロ電車運行期間において、観光客の利便性の向上を図るため、レトロ電車「箱館ハイカラ號」(企業局)と「箱館浪漫号」(函館バス)との接続運行を行った。	○平成23年度と同様に、函館バスと連携した乗客輸送を行った。 ○初めて、JR北海道・函館バス・企業局の3事業者が連携した事業「はこだて旅するパスポート」に着手した。	○平成24年度と同様に、函館バスとの連携した乗客輸送を行ったほか、新たにミッドナイトトラムとミッドナイトバスの接続運行も実施した。 ○JR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」については、本格的に通年販売となった。			

#REF!

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	従前から実施している函館バスとの連携に加え、企業局が12月に実施している深夜便運行(ミッドナイトトラム)に合わせて、函館バスによる新たなミッドナイトバスの運行が開始され、五稜郭での接続運行を行った。また、函館市を含めた5市町でJR北海道・函館バス・函館市電が2日間乗り放題となる「はこだて旅するパスポート」については、本格的に通年で販売されることとなった。
今後の方向性	今後も函館バスとの連携による運行を行っていくほか、北海道新幹線開業に向け関係交通機関との連携を強化していく。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進					
対策内容	電停周辺の企業に対し、電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度のPRおよび利用勧誘を積極的に働きかける。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫	【五稜郭公園前電停】 ○野村證券 平成25年9月で契約終了 【魚市場通電停前】 ○函館信用金庫		

#REF!

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	魚市場通電停(函館信用金庫)は更新されたが、五稜郭公園前電停(野村證券)については、9月で契約が終了した。また、電停周辺企業への制度の周知は図られていると考えるが、利用の申込みが無い状況にある。
今後の方向性	電停ネーミングライツ制度の利用促進が図られるよう、PR効果が高いと思われる電停周辺への移転や新規開業した企業を中心とした勧誘に努めるとともに、電停広告などを含めた広告効果などを検討する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売					
対策内容	車内および車外を利用した、新たな広告商品の開発と市内・市外企業へのホームページ等を活用した販売促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」	○8101号車の車体広告 (窓ガラス含む) ○9601号車の「バナー広告」 ○「車内ストラップ広告」	○芸能人の吹き替えによる電停案内を行った。 ○車体の部分ラッピング広告	○企業の記念イベントにより、期間限定の車体広告を行った。 ○車内にミントの鉢植えを置くなど、新たな広告手法を試行し、話題になった。		

#REF!

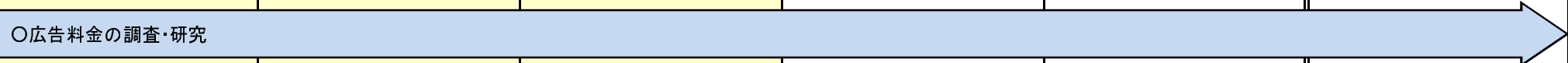
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	企業等とのタイアップイベントを通じて、新たな手法を試みるなど広告の利用促進が図られた。
今後の方向性	電車を利用した広報活動やイベント等での活用について、広告代理店や企業への周知を図りたい。また、低床車両が3両となったことから、この車両を利用した新たな広告商品について検討する。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究 					
	○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者、4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。	休 止		

平成 25 年度

評 価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
-----	---

評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 計画策定当初はカラー電車などが人気であり、広告料金の値上げをイメージし対策項目としたが、昨今の経済状況から広告料金の値上げについては非常に厳しい状況であるため、広告料金の改定については当面休止する。
------	---

今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 今後、新幹線の開業などにより、観光客の入り込みや市内経済状況の好転が予想されるため、時期をみて再開する。
--------	--

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 消費税増税後の社会情勢なども考慮した上で再開してはどうか。
----------	---

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売					
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	【商品】 ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキーホルダー	【新規商品】 ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」	【新規商品】 ○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット ○函館市電8000形プラモデル ○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか	○販売を継続するオリジナルグッズを整理した。 【新規商品】 ○DVD・鉄道むすめキャラクター「キーチェーン」 【100周年記念商品】 ○100周年記念誌・オリジナルフレーム切手・クリアファイル・USBメモリー・ポスター		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
----	--

評価理由	意匠を活用した100周年記念商品の委託販売を実施したほか、独自の100周年記念商品も販売し、函館市電のイメージアップを図った。なお、既存のオリジナルグッズについては、需要の高いものなどを継続して販売することで整理を進めた。
------	---

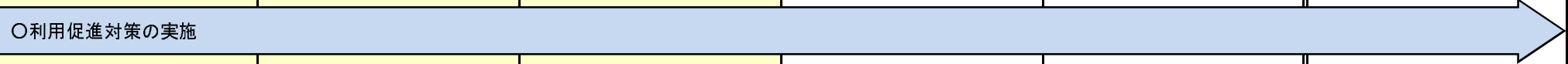
今後の方向性	今後も引き続き、販売を継続するオリジナルグッズの整理を行うとともに、新規商品の開発や販売促進に努める。
--------	---

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○利用促進対策の実施 					
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
----	--

評価理由	昨年度と同様に、関係機関と協力して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。
------	--

今後の方向性	今後も引き続き、関係機関との連携を図り、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかける。
--------	---

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 ○函館キッズタウンに参加	【100周年イベント】 ○開業100周年記念大正時代の花電車出発式、100円均一運行、車内絵画展等 【その他のイベント】 ○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	路面電車開業100周年イベントを開催したほか、路面電車感謝祭をはじめとする各種催しなどを継続実施した。
今後の方向性	今後も引き続き、イベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充					
実績・成果	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区等のホテルを訪問し、PR活動を行った。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区を中心に電車沿線のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行った。
今後の方向性	電車を利用した市内観光など、積極的にPRを行っていく。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
実績・成果	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。	○前年度と同様な取り組みを、継続して実施した。 ○自由市場で買い物した際、電車専用一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックが受けられるサービスが実施された。 ○GLAYのコンサートに合わせた増車運行やオリジナル1日乗車券の作成・販売を行った。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	電車沿線で開催される各種イベントの実施と連携を図り、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、買い物をしたお客様が市電一日乗車券を提示することで、100円のキャッシュバックを受けられるサービスが実施された。また、7月に行われたGLAYのコンサートでは増車運行を行うとともに、オリジナル一日乗車券を作成し、函館空港や市内のホテル・旅館、函館駅前安全地帯などで販売を行ない、利用促進に大きな効果があった。
今後の方向性	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。
経営懇話会意見等	

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進
対策内容	旅行代理店・観光施設・観光コンベンション団体等との連携を強め、修学旅行の誘致等を行い、また各種パンフレット等に市電に関する内容を掲載し、観光客等に対し情報提供するとともに、市電乗車券を含んだ旅行パック商品等の拡大に努める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進					
実績・成果	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーの車内積み込みを実施した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。	○市電乗車券をパックにした旅行商品の販売やツアーを提案した。 ○大規模コンベンション開催時に「第○回☆☆大会歓迎」の表示を行った。 ○市電情報をタイアップ掲載したフリーペーパーを車内に積み込んだ。 ○市電を利用した社会学習コースを提案し、修学旅行を誘致した。 ○パック旅行に組みやすい商品として、旅行会社のオリジナル一日乗車券を発行した。	○前年度と同様、旅行代理店等との連携による利用促進を図った。 ○新たな企画として、平成26年度に函館港に入港するクルーズ船の乗客を対象とした、市電を利用した観光プランが、旅行代理店との連携により商品化された。		

平成25年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	前年度と同様に、車庫見学を含めたツアーや修学旅行時の市電を利用した社会学習等を提案し、観光客等の利用促進に努めた。また、旅行代理店と連携し、平成26年度に予定されているクルーズ客船の定期寄港に向けて、市電を利用した函館の観光施設を巡るプランが新たに商品化された。(H25修学旅行 430件, H25ツアー32件)
今後の方向性	今後も引き続き、旅行代理店や観光コンベンション団体と連携し、観光客等の利用促進に努める。

経営懇話会意見等	
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(カ) 交通事業等についての情報発信の強化
対策内容	市内公共交通機関との連携や民営バスとの乗継制度等についての周知のため、広報を強化し、地域の交通体系に関する情報発信に積極的に参画する。また、ホームページに、多言語表記による概要やブログ形式記事の登録等内容の充実を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標		○乗継制度等についての周知のための広報の検討・実施				
			○広報活動およびインターネットを活用した情報発信の強化について検討する			
			○情報発信強化についての方法を検討・ホームページの内容の充実			
実績・成果	○乗り継ぎ制度等について、函館バスと協力し、車内にポスターを掲示した。 ○ホームページ掲載の路線図を英語表記を追加した。	○電停広報装置を設置し、遅れなどの運行障害発生情報の発信を開始した。 ○ホームページ掲載の路線図を多言語表記にした。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベント等の情報をホームページやフェイスブックで発信した。	○電停広報装置を活用し、車両故障や遅延に対する情報を発信した。 ○路面電車開業100周年イベントや日々の情報をホームページやフェイスブックで発信した。 ○JIS規格等に対応したシステムを導入する市ホームページへの移行作業を進めた。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	路面電車開業100周年や毎年実施している記念事業、各種イベントへの取組状況、日常の話題等をフェイスブックで発信し好評を得た。また、交通部独自で運用していた函館市電のホームページについては、JIS規格への対応やページ読み上げ機能等があるシステムを導入し、平成26年度にリニューアルされる市ホームページへの移行作業を進めた。
今後の方向性	今後も引き続き、インターネットの活用を図りながら、充実した情報発信に努める。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。	○乗務経験や専門的な知識を有する人材を将来にわたり確保し、技術継承および安全管理体制の向上を図るため、職種変更試験制度を新設した。 ○水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎのための人員配置を行い、収納業務効率化の検討にも着手した。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	将来にわたって事業を継続していくため、職種変更試験制度の導入による人材確保を図るとともに、水道局と統合したメリットを生かし、今後の円滑な事務引き継ぎや収納業務の効率化に向けた取り組みを行った。
今後の方向性	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化、囑託化推進による人件費の抑制
対策内容	技術職員、事務職員等の担当業務について、アウトソーシング推進の見地からの評価を行い、外注化・囑託化を推進し、人件費総額の抑制に努める。
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○各所属における業務の効率化の検討	○施設整備業務の外注化拡大に向け、各種課題の解決を図る。 ○管理業務の囑託化に向けた課題を整理・実施する。	○施設整備業務の外注化の拡大	<p>・外注化および囑託化の効果の検証 →</p> <p>○外注化拡大の検討 →</p>		
実績・成果	○施設整備業務のうち、電路設備業務と車両整備業務について委託業務の拡大を目指し、検討した。	○水道局との統合による業務の効率化(管理業務の統合)を図り、管理業務の囑託化をH24年度から実施することとした。 ○施設整備業務については、委託体制の課題があり、外注拡大に至らなかった。	○施設整備業務については、委託体制の課題があり、外注拡大に至らなかった。	休 止		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 外注化拡大を検討した結果、委託の拡大に当たっては受託者の環境が整備されている必要があり、将来に向けた技術継承をしていく必要があるため、当面の間、外注を拡大することは難しい。
今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 民間事業者への技術継承などを含めて課題解消に向けた働きかけを行っていく。
経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 外注化については、一度休止するのはやむを得ないが、課題解消に向けた働きかけは、技術の継承も含め慎重に行っていくことが望ましい。

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト削減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。	○平成24年度までに徹底した経費の削減に取り組んできており、引き続きコスト削減を図っていく。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	消耗品や電力量の削減のほか、文書の運搬業務の見直し等、事務の見直しによるコスト削減に取り組んだ。
今後の方向性	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進
対策内容	車両, 線路, 電路等施設について, 日々の安全運行の確保と将来にわたる確実な事業運営の継続を担保とするため, 改修・更新を進める。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 120 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 216 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 230 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 265 百万円	【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 350 百万円	【車両】車体改良 1両 【車両】車体修繕 5両 【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 900m 【電路】変電所改良(H25継続) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 945 百万円
実績・成果	【線路】軌道改良 200m 【線路】分岐器改良 1箇所 【線路】安全地帯改良 1箇所 事業費 114 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 400m 事業費 205 百万円	【車両】車体改良(800形) 1両 【線路】軌道改良 434.5m 事業費 268 百万円	【車両】超低床電車導入 1両 【線路】軌道改良 100m 【電路】変電所改良(実施設計) 1箇所(駒場町変電所) 事業費 281 百万円		

平成 25 年度

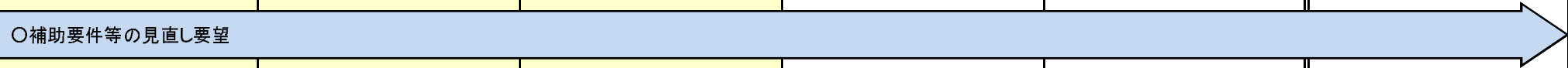
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	計画していた事業を実施したほか, 道路管理者の一部費用負担により交差点改良も実施した。
今後の方向性	安全の確保と将来にわたる事業継続を担保するため, 計画的な施設の改良・更新を進める。

経営懇話会意見等	
----------	--

3 支出に係る対策

(2) 建設改良について

対策項目	(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続
対策内容	LRTシステム整備費補助金制度(現:地域公共交通確保維持改善事業費補助制度)について、国に対し、補助率の拡充や補助要件の緩和等を引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○補助要件等の見直し要望 					
実績・成果	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。	○計画どおり実施した。		

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	全国路面軌道連絡協議会などを通じて、補助率の拡充や補助メニューの拡大を要請した。
今後の方向性	引き続き、積極的な情報収集を行うとともに、各種団体と協力しながら、機会あるごとに国に対して要望を継続する。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④	④
	合計	合計	合計	合計	合計	合計

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。
今後の方向性	経費節減に努めたいので、一般会計へ要求していきたい。

経営懇話会 意見等	
--------------	--

4 一般会計からの補助

(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設維持保守関係補助を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①車両および電路、変電所等施設の維持保守経費
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① 34 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】 ① 25 百万円	【補助金】 ① 27 百万円	【補助金】 ① 33 百万円	【補助金】 ① 34 百万円	【補助金】 ① - 百万円	【補助金】 ① - 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。
今後の方向性	経費節減に努めたくうえで、一般会計へ要求していきたい。
経営懇話会 意見等	

5 累積資金不足額の処理

(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について

対策項目	(ア) 一般会計補助金による年次の処理					
対策内容	市営バス事業に起因し、第1次経営計画から引き継いだ不良債務(累積資金不足額)について、本計画期間を目途とする年次計画により解消を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27～31年度		
実施計画・対策目標	前年累積額	-1,172 百万円	前年累積額	-1,054 百万円	前年累積額	-936 百万円	前年累積額	-818 百万円	前年累積額	-700 百万円	H27～H31の5か年合計	
	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	118 百万円	解消額	582 百万円
	不足残額	-1,054 百万円	不足残額	-936 百万円	不足残額	-818 百万円	不足残額	-700 百万円	不足残額	-582 百万円		
	軌道事業補填	31 百万円	軌道事業補填	61 百万円	軌道事業補填	189 百万円	軌道事業補填	317 百万円	軌道事業補填	380 百万円	軌道事業補填	363 百万円
	不足額合計	-1,023 百万円	不足額合計	-875 百万円	不足額合計	-629 百万円	不足額合計	-383 百万円	不足額合計	-202 百万円	H31末不足額	743 百万円
実績・成果	前年累積額	-1,170 百万円	前年累積額	-1,052 百万円	前年累積額	-967 百万円	前年累積額	-874 百万円	前年累積額	- 百万円	H27～H31の5か年合計	
	解消額	118 百万円	解消額	85 百万円	解消額	93 百万円	解消額	93 百万円	解消額	- 百万円	解消額	- 百万円
	不足残額	-1,052 百万円	不足残額	-967 百万円	不足残額	-874 百万円	不足残額	-781 百万円	不足残額	- 百万円		
	軌道事業補填	72 百万円	軌道事業補填	112 百万円	軌道事業補填	305 百万円	軌道事業補填	493 百万円	軌道事業補填	- 百万円	軌道事業補填	- 百万円
	不足額合計	-980 百万円	不足額合計	-855 百万円	不足額合計	-569 百万円	不足額合計	-288 百万円	不足額合計	- 百万円	H31末不足額	- 百万円

平成 25 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	平成25年度においては、計画を上回る不良債務の解消が図られている。
今後の方向性	今後も一般会計へ計画どおりの要求をしていきたい。

経営懇話会意見等	
----------	--

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27~31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。				
実績・成果	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。	休 止		

平成 25 年度

評 価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
-----	---

評価理由	【参考：平成24年度の記載内容】 併用軌道であることから、法等によって乗入規制が強化されない限り、現状では実現困難と判断した。
------	--

今後の方向性	【参考：平成24年度の記載内容】 今後は軌道敷内進入注意の啓発を強化し、走行環境の改善に努めたい。
--------	--

経営懇話会意見等	【参考：平成24年度の記載内容】 状況により一度休止するのはやむを得ないと思うが、状況の変化を注視していくとともに、軌道敷進入注意喚起のための方法について適時検討を続けて欲しい。
----------	--

函館市交通事業経営計画(第2次)の進行管理
作業スケジュールについて(平成26年度)

函館市交通事業経営計画（第2次）の進行管理作業スケジュールについて

H26.8.29(金)

日 程	事 務 局	各 委 員
8月29日(金) (本日)	○交通事業経営計画（第2次）進行管理における局内評価の説明	
9月1日(月) } 9月12日(金)	○各委員からの質問等受付（電話・FAX・Eメール） 《連絡先》 管理部経営企画課 浅原 宛 TEL:27-8766 FAX:23-7053 E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp	○進行管理シート毎に、各委員 <u>個人の意見を記入→A3の一覧表に記入</u> ○各シートを見て疑問点などがあるため、 <u>意見を記入できない項目について、質問事項として抽出</u> し、電話・FAXまたはEメールで事務局に提出
9月16日(火) } 9月26日(金)	○質問の書面による回答 → 類似質問などをとりまとめ、Q&Aとして作成し、各委員に配布	○事務局から届いた質問事項の回答を基に、疑問点などのため <u>未記入であった項目について、意見を記入</u>
9月29日(月) } 10月10日(金)	○各委員からの意見等の受付	○事務局へ <u>意見を提出</u> （郵送またはEメール） 《送付先》 〒040-8541 函館市末広町5番14号 企業局管理部経営企画課 浅原 宛（返信用封筒にて） E-Mail:keiei@city.hakodate.hokkaido.jp
10月14日(火) } 第3回 懇話会まで	○各委員から提出された意見の集約 → 会長と協議し、懇話会意見等（案）を作成	
10月末	○ 第3回 経営懇話会の開催 → 「各委員意見」と「懇話会意見等（案）」を資料配布	○配布された「懇話会意見等（案）」を基に懇話会としての意見をまとめる
11月～12月中旬	○ホームページによる進行管理シートの公表	

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理

各 対 策 の 担 当 課

函館市交通事業経営計画(第2次)における各対策の担当課

項目	担当課	
	主管課(担当)	関係課(担当)
● 計画の総合調整	経営企画課	—
1 財政収支試算等の計画・実績		
(1) 財政収支試算	経理課(経理)	—
(2) 建設改良計画	施設課	—
(3) 一般会計補助金総括表	経理課(経理)	—
(4) 累積資金不足額の処理計画	経理課(経理)	—
2 収入に係る対策		
(1) 料金制度について		
(ア) 均一料金制度についての検討の継続	経理課(経理)	経営企画課 事業課
(イ) 新たな割引体系の検討および定期券等割引率の見直し	経理課(経理)	経営企画課 事業課(営業)
(ウ) ICカード等新媒体の調査研究	事業課(営業)	経営企画課
(2) 乗客サービスについて		
(ア) 職員の接遇マナーと企業意識向上の徹底	総務課(行革)	事業課(電車)
(イ) 乗客需要に見合った営業時間および運行間隔の再構築	事業課(電車)	事業課(営業)
(ウ) 電車内での市民・観光情報の積極的発信を図る方策	事業課(営業)	—
(エ) 他の交通機関との連携強化	事業課(営業)	—
(3) 広告料収入について		
(ア) 電停ネーミングライツ(電停副呼称)制度の推進	事業課(営業)	—
(イ) 車内・車外使用による新規広告商品の開発・販売	事業課(営業)	—
(ウ) 広告料金の改定について検討	経理課(経理)	経営企画課 事業課(営業)
(エ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売	事業課(営業)	—
(4) 利用促進について		
(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進	事業課(営業)	総務課 経営企画課
(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施	事業課(営業)	経営企画課
(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充	事業課(営業)	経営企画課
(エ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大	事業課(営業)	—
(オ) 旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による利用促進	事業課(営業)	—
(カ) 交通事業等についての情報発信の強化	事業課(営業)	経営企画課
3 支出に係る対策		
(1) 効率化の推進について		
(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立	総務課(行革)	交通部各課
(イ) 施設整備業務および管理業務の外注化、嘱託化推進による人件費の抑制	総務課(行革)	経理課(経・契) 施設課
(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減	総務課(行革)	経理課(経理) 交通部各課
(2) 建設改良について		
(ア) 安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備の計画的推進	施設課	安全推進課
(イ) 補助制度拡充等についての国に対する要望継続	施設課	安全推進課
4 一般会計からの補助		
(1) 施設改善関係に対する補助について	経理課(経理)	施設課
(2) 施設維持保守関係補助に対する補助について	経理課(経理)	施設課
5 累積資金不足額の処理		
(1) 計画期間を目途とする累積資金不足額の解消について		
(ア) 一般会計補助金による年次的処理	経理課(経理)	—
6 走行環境の改善		
(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について		
(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続	事業課(電車)	施設課(電路) 安全推進課
(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化	安全推進課	—

函館市交通事業経営計画(第2次)

参考資料



【旧 十字街交差点 (昭和2年)】

平成26年8月
函館市企業局

目 次

● 参考資料

- | | | | |
|---|-----------------------------|----|-----|
| 1 | 函館の路面電車 | 1 | ページ |
| | ～函館市企業局の保有する車両 | | |
| 2 | 電車広告（直営広告） | 7 | ページ |
| | ～直営で行っている広告等 | | |
| 3 | 函館市電の意匠を使用したオリジナルグッズ | 13 | ページ |
| | ～現在販売中のグッズ等 | | |
| 4 | 関連イベント | 21 | ページ |
| | ～局実施および市内各種イベント等への協力 | | |
| 5 | その他写真等資料 | 25 | ページ |
| | ～各種乗車券，建設改良工事，利用者サービスの実施等 | | |
| 6 | 路面電車開業100周年記念関連 | 33 | ページ |
| | ～開業100周年を記念したイベントや限定販売のグッズ等 | | |

1 函館の路面電車



500形車両諸元表

(530号車)



定員	80人
全長	13,050 mm
全幅	2,336 mm
全高	3,700 mm
自重	16.2 t
台車型式	日本車両ウイングバネ式
電動形式	三菱MB-172-NR
製造所	日本車両
購入年月日	昭和27年 5月31日

710形車両諸元表

(715, 716, 718, 719, 720, 721, 723, 724号車)



定員	90人
全長	12,240 mm
全幅	2,342 mm
全高	3,700 mm
自重	14.76 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	新潟鉄工所
購入年月日	昭和35年12月13日 昭和37年 2月15日

800形車両諸元表

(812号車)



定員	90人
全長	12,240 mm
全幅	2,342 mm
全高	3,700 mm
自重	14.26 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	新潟鉄工所
購入年月日	昭和41年 5月31日

8000形車両諸元表

(8001～8010号車)



定員	80人
全長	12,240 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	14.26 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	アルナ工機
購入年月日	昭和37年 9月29日 昭和38年 6月30日 昭和41年 5月31日
改造年月日	平成2年3月31日～平成25年1月11日

2000形車両諸元表

(2001, 2002号車)



定員	58人
全長	12,320 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	18.0 t
台車型式	住友FS-92
電動形式	東洋TDK6302-A
製造所	アルナ工機
購入年月日	平成 5年 3月31日 平成 6年 3月31日

3000形車両諸元表

(3001, 3002, 3003, 3004号車)



定員	58人
全長	12,320 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	19.0 t
台車型式	住友FS-92
電動形式	東洋TDK6302-A
製造所	アルナ工機
購入年月日	平成 5年 3月31日 平成 6年 3月31日 平成 7年 3月31日 平成 8年 3月27日

8100形車両諸元表(部分低床車)

(8101号車)



定員	60人
全長	12,390 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	16.5 t
台車型式	住友FS-77A軸バネ式
電動形式	日車NE-50B
製造所	アルナ工機
購入年月日	昭和38年 6月30日
改造年月日	平成14年 3月28日

9600形車両諸元表(超低床電車:愛称「らっくる号」)

(9601, 9602, 9603号車)



定員	62人
全長	13,250 mm
全幅	2,340 mm
全高	3,700 mm
自重	20.0 t
台車型式	住友SS-05 2軸ボルスタレス
電動形式	東洋TDK6407-B
製造所	アルナ車両
購入年月日	平成19年 2月20日 平成22年 3月10日 平成26年 1月24日

箱館ハイカラ號車両諸元表(復元電車:別名「レトロ電車」)



定員	33人
全長	9,706 mm
全幅	2,286 mm
全高	3,750 mm
自重	10.35 t
台車型式	米国ブリル21E-1
電動形式	鳥羽MT-60
製造所	札幌交通機械
購入年月日	大正 7年 5月
改造年月日	平成 5年 5月31日

ササラ電車車両諸元表
(排雪3, 排雪4号車)



定員	—
全長	8,700 mm
全幅	2,344 mm
全高	3,960 mm
自重	10.39 t
台車型式	米国ブリル21E-1
電動形式	鳥羽MT-60
製造所	函館水電
購入年月日	昭和 9年
改造年月日	昭和12年 4月12日

多目的電車「アムusement・トラム」(500形)車両諸元表



定員	35 人
全長	12,510 mm
全幅	2,336 mm
全高	3,700 mm
自重	15.4 t
台車型式	日本車輛ウイングバネ式
電動形式	三菱MB-172-NR
製造所	日本車輛
購入年月日	昭和24年 5月31日
改造年月日	昭和62年 3月20日
主なサービス機器	電気暖房, 扇風機, 換気扇 カラオケ装置, 液晶式モニター DVDプレーヤー, 大型冷蔵庫 流し台, AC100Vコンセント
座席数	28席(補助椅子使用で35席)



2 電車 広告

(直 営 廣 告)



電車中つり



広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両2枚
金 額	177 円
適 用	最低掲出期間は3日間です。

広告料金の割引率

90日以上	全掲出期間につき2割
-------	------------

電車窓つり



広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両1枚
金 額	88 円
適 用	最低掲出期間は3日間です。

広告料金の割引率

180日以上	全掲出期間につき3割
--------	------------

電車額面



広告料金

規 格	364mm × 515mm (B3版)
単 位	1日1両1枚
金 額	51 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

広告料金の割引率

30日以上90日未満	全掲出期間につき1割
90日以上180日未満	全掲出期間につき2割
180日以上	全掲出期間につき3割

電車窓ステッカー



広告料金

規 格	150mm × 450mm
単 位	1日1両1枚
金 額	30 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

広告料金の割引率

180日以上	全掲出期間につき3割
--------	------------

電車外窓ステッカー



広告料金

規 格	150mm × 450mm
単 位	1日1両1枚
金 額	36 円
適 用	最低掲出期間は5日間です。

広告料金の割引率

180日以上 全掲出期間につき3割

カラー電車



広告料金

規 格	車体全体
単 位	1月1両
金 額	108,000 円
適 用	最低掲出期間は6月間です。 広告料のほかに復元費用216,000円を頂きます。

広告料金の割引率

2年を超え4年以下	1月につき1割
4年を超え9年以下	1月につき2割
9年を超える期間	1月につき3割

電停ネーミングライツ



広告料金

規 格	電停副呼称
単 位	1年1ヶ所
金 額	735,000 円～
適 用	電停毎に条件が違いますのでお見積もりいたします。 ご契約は、1年単位ですが、電車副呼称という性格上、3年以上のご契約をお願いいたします。

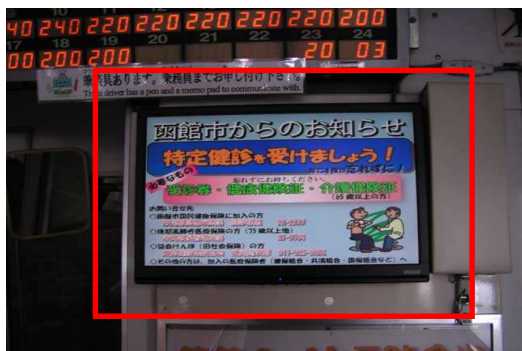
料金箱ステッカー



広告料金

規 格	170mm × 230mm
単 位	1月全車両1枚
金 額	10,800 円
適 用	1年毎にステッカーは貼り替えとなります。 掲出場所は、1両につき2箇所限定です。

液晶ディスプレイ



広告料金

規 格	19インチワイドモニター
単 位	1月15両15秒
金 額	21,600円
適 用	映像は、1月単位での申込みとなります。 1口につき15両の電車に15秒間の映像を放送します。 2口(つまり30秒)のCMもOKです。

窓タイアップステッカー



広告料金

規 格	230mm×500mm(大) 170mm×500mm(中)
単 位	1月1枚
金 額	450円(大) 282円(中)
適 用	上記の規格以外の大きさについては、価格設定が異なります。

バナー広告



広告料金

規 格	1,000mm×1,000mm
単 位	1月1両
金 額	75,600円
適 用	最長掲出期間は1年間です。 「らっくる号」(3両)に掲出できます。1両につき左右の2箇所に掲出します。

外側板



広告料金

規 格	600mm×1,200mm
単 位	1日(4枚)
金 額	4,680円
適 用	電車の外側に設置された広告用スペースです。 掲出可能な電車は812号,723号のみとなっています。 2枚で2,340円も可能です。

フリーペーパー



広告料金

規 格 —

単 位 —

金 額 —

適 用 市内観光情報や市電案内などが掲載されたフリーペーパーや市電パンフレットなどを据え置くためのスペースを設置しています。

3 函館市電の意匠を使用した オリジナルグッズ



五稜郭築造150周年記念「市電1日乗車券」



販売価格 600円（大人券のみ）

説明

五稜郭築造150年の節目の年を迎えるにあたり、それを記念して作成いたしました。

こちらは、20,000枚限定です。

※小児券はございません。

2014路面電車の日記念「市電1日乗車券」



販売価格 600円（大人券のみ）

説明

「鉄道むすめ」のキャラクター「松風かれん」をイメージした市電専用1日乗車券を作成しました。

こちらは、1,000枚限定です。

※小児券はございません。

函館の路面電車カレンダー



販売価格 壁掛けタイプA2版二つ折り 1,260円

卓上タイプ 90×94mm 525円

送料 290円（商品一つにつき）

説明

ファン待望の函館の路面電車カレンダーを販売。

北海道函館市

街と人と路面電車との光景を2種類（壁掛け、卓上）のカレンダーに。

市電でめぐる函館100選



販売価格 1,543円

説明

2013年に100周年を迎えた函館の路面電車楽しくめぐる沿線の必見スポット100を厳選。

「箱館ハイカラ號」サブレ



販売価格 500 円

説 明

函館観光の記念にお土産に！
ついに、箱館ハイカラ號のお菓子が登場しました。

電停時刻表QRコード付きストラップクリーナー



販売価格 480 円

説 明

函館市電の停留場名標示灯をストラップクリーナーにいたしました。
このストラップクリーナーに印刷したQRコードにより、その電停からの
市電発車予定時刻が閲覧できます。

オリジナルUSBメモリ4GB



販売価格 2,160 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、オリジナルUSBメモリを作成いた
しました。

今回は、なんと！

「国境なきデザイン集団」製作の車両紹介絵本 その1
530 試作版のデータ入り

セルDVD「北の港町で～ササラ電車が守る函館の冬～」



販売価格 2,500 円

説 明

異国情緒あふれる町並みが至るところに残るハイカラな港町北海
道・函館。北の路面電車の厳しい冬を守る、明治時代の旧東京市電ヨ
ヘロを改造した除雪用車両・ササラ電車の活躍を記録した、函館市企
業局交通部の公式記録映像をDVDソフト化しました。

函館のササラ電車の全貌が分かる1枚を、どうぞお楽しみください。

セルDVD 私鉄沿線・日本の車窓シリーズ「函館 白銀のチンチン電車」



販売価格 2,625 円

説 明

「湯の川」～「函館どつく前」～「谷地頭」間を運転士の気分になって走破したスペシャル映像です。

セルDVD「蘇る函館市電3系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

説 明

函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電3系統の貴重映像
貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

[PART1]

函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前
前走車両8004号から後方営業車両1007号を撮影

[PART2]

駒場車庫前→ガス会社前→函館どつく前
8004号運転席より展望風景を撮影

セルDVD「蘇る函館市電1系統」路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

説 明

函館市電ファン必見!! 平成4年に廃止された市電東雲線の貴重映像
貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

[PART1]

松風町→宝来町→十字街→末広町
運転席よりの展望風景と走行シーン

[PART2]

末広町→十字街→宝来町→松風町
501号運転席より展望風景を撮影

[PART3]

最終日の市電東雲線
最終電車発車シーン等

[資料映像]

よその街からきた電車たち(排雪2・6号車試運転・都電色復元等)

セルDVD「続”蘇る函館市電3系統”路面電車開業百年記念復刻版



販売価格 2,940 円

説 明

函館市電ファン必見!! 平成5年に廃止された市電ガス会社まわり線の貴重映像【続編】

貴重な廃止路線の映像をどうぞお楽しみください。

〔PART3〕

函館駅前→ガス会社前→五稜郭公園前
運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影

〔PART4〕

五稜郭公園前→ガス会社前→函館駅前
運転席展望風景と1007号走行シーンを撮影

〔PART5〕

港まつり開催日の市電ガス会社まわり線
花電車、西武・テーオー前折返し

〔PART6〕

最終日の市電ガス会社まわり線
最終電車発車シーン等

〔資料〕

写真で振り返る市電“五稜郭駅前線”
五稜郭駅前電停、特急列車との並走等

※ PART1・PART2は、セルDVD「蘇る函館市電3系統」(別売り)に収録されております。

「箱館ハイカラ號」車内放送CD-R



販売価格 復刻版 2,160 円 現行版 2,160 円

説 明

平成5年に運行を開始した箱館ハイカラ號。

当時の車内放送をCDにしました。

現在の放送とお聞き比べ下さい。

「旧路線」車内放送CD-R



販売価格 1系統 2,160 円 3系統 2,160 円

説 明

平成4年3月31日まで運行していた1系統と平成5年3月31日まで運行していた3系統の車内放送をCD-Rに復刻いたしました。

CMも入っておりますので、当時の「はこだて」を懐かしむことの出来る逸品です。

箱館ハイカラ號生誕100周年記念プルバック式ダイキャストカー「箱館ハイカラ號」



販売価格 1,600 円

説 明

1910年に千葉県成田市で運行を開始した、この電車の台車(=車輪のついている部分で、走行装置のこと)が100周年を迎えます。いよいよダイキャストカーになりました。

プルバック式ダイキャストカー「らっくる号」オリジナルモデル



販売価格 1,300 円

説 明

超低床電車9602号(愛称:らっくる号)の運行開始を記念して第2次版が登場。
付属のシールで9601号から9603号にまで変身。
また、お気に入りの行き先を表示して下さい。

函館市電8000形電車 1/150スケール(Nゲージサイズ)



販売価格 2,200 円

説 明

お待ちせしました！
市電8000形のプラスチックモデルがいよいよ発売されます。
細部のこだわりをぜひご堪能下さい。

鉄道むすめ『ミニスタンプ』+『IDカード風バッチ』セット



販売価格 600 円

説 明

松風かれんは当部でしか手に入らない限定品です。バッチにはキャラクタープロフィールを記載したキャラクターが身に付けそうなバッチをイメージしたもの、ミニスタンプは実際に設置されているスタンプと同じデザインです。

鉄道むすめトレインステッカー Vol.3



販売価格 630円

説明

鉄道の現場で活躍する制服のコレクションフィギュア「鉄道むすめ」。魅力的な鉄道むすめキャラの車内ステッカーが登場!!
実際に鉄道で使用されているステッカー(=広告、PRなど)の鉄道むすめver.ステッカーの第3弾です。
過去のポスターシリーズでご好評だったコラボ企画も収録されます。
★実際の車内ステッカーと同じサイズ(200×165mm)です。

鉄道むすめトレインマークキーチェーン



販売価格 660円

説明

鉄むすキャラの架空トレインマーク第2弾!!
くるくる廻せる、もしも?のキャラ幕!!
鉄道の現場で活躍する制服のコレクションフィギュア「鉄道むすめ」。魅力的な鉄道むすめキャラのオリジナルトレインマークが登場!!
当局の販売は、「柏木ゆの&松風かれん」です。

鉄道むすめ ～鉄道制服コレクション～



説明

玩具メーカーミーテックが展開している「鉄道制服コレクション」の副称が付されており、実在する鉄道会社の現場で働いているという設定のオリジナルキャラクターはその現場制服を着用したキャラクターデザインとなっている。

- ・函館市電運転士(松風かれん)
- ・箱館ハイカラ号車掌(柏木ゆの)

4 関連イベント



路面電車感謝祭



実施時期 7月末

説明

平成16年度から、親子見学会等のイベントを通して、駒場車庫を市民に広く開放することにより、普段の利用に感謝するとともに市電に関心を持ってもらうことを目的に開催している。

なお、平成26年度で11回目の開催となる。

街頭キャンペーン



実施時期 6月、10月

説明

「路面電車の日」や「鉄道の日」などにあわせ、街頭で利用促進のためのパンフレットやティッシュを配布している。

観光地案内(「観光みどころ案内所」)



実施時期 ゴールデンウィーク、夏季繁忙期等

説明

「観光見どころ案内所」という名称で、函館駅前(夏休み)と湯の川温泉電停前(ゴールデンウィーク)に設置。観光客の多い時期に電車沿線付近の観光案内を行うことで、1日乗車券の販売と市電の利用を促すために実施している。

地球環境パネル展



実施時期 7月末

説明

平成23年度から「路面電車感謝祭」で実施。市環境部と連携し、環境関連パネルを展示した車両を感謝祭会場内に設置し、来場者へ地球環境に対する意識啓発を図るとともに「人と環境にやさしい路面電車」をアピールしている。

路面電車の日記念事業



実施時期 6月

説明

「路面電車の日」は平成7年に広島市で開催された第2回路面電車サミットにおいて6(ロク)=ロメン, 10(テン)=デンシヤと読めることから6月10日を路面電車の日と制定された。

【交通部で行っているイベント内容】

- ・PR活動(電停でのティッシュ配付等)
- ・運転体験会
- ・アミューズメントトラム(カラオケ電車)招待運行

「鉄道の日」記念事業



実施時期 10月

説明

明治5年に新橋と横浜間で日本初の鉄道が開業した。
大正10年10月14日に鉄道開業50周年を記念して東京丸の内に鉄道博物館が開館したことを記念したもので、翌年から鉄道記念日として鉄道省より制定された。

【交通部で行っているイベント内容】

- ・PR活動(電停でのティッシュ配付等)
- ・全線均一料金(200円均一)
- ・運転体験会

中島れんばい横丁の広告宣伝



実施時期 毎月第4金・土曜日

説明

平成21年度から、毎月第4金・土曜日に「函館市民の台所」中島廉売において開催している屋台イベント「中島れんばい横丁」のPRとして、電車内に広告を掲出している。

電車deお茶会

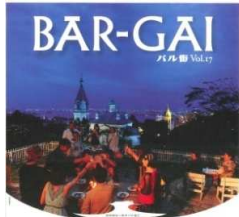


実施時期

説明

西部地区の振興活性化を進めるための企画として、函館市弁天活性化実行委員会が主催し、平成14年度からイベントを実施している。平成14年度は電車内で結婚式を行ったほか、平成15年度からは毎年、どつく前停留場に電車を留め置きし、お茶会を実施している。

バル街電車



■バル街電車 (2本8往)

函館市企業局のご協力で、「函館どつく前～十字街～谷地橋」区間を専用の「バル街電車」が2本、1本は4往復、もう1本は3.5往復運行します。移動とともに車窓からの西部再遊をお楽しみください。「バル街チケット提示」(半券を返す必要はありません)で運賃はすべて無料、何回でも乗れます。十字街18:55から40分で谷地橋～どつく前～十字街と1往復、各電停には一方行きが15分毎にやってきます。終電の十字街発(料車庫行き)は22:00と22:05。なお、一般の市電の終電は十字街発22:35(湯の川行き)です。

実施時期 主に春と秋

説明

函館西部地区を舞台に、まちをスペインの飲食文化「バル」に見立てて徹底的に楽しもうというイベント。気軽に店に立ち寄り、見知らぬ客同士が会話や食事、音楽を楽しみながらお店を数軒ハシゴして飲み歩くという内容で、バル街のチケット提示で無料で乗れる「バル街電車」を運行している。

黒船



実施時期 7月

説明

函館黒船地域活性化協議会が主催するイベントで、緑の島を会場として実施。会場への交通手段の1つとして、イベント来場者の輸送のため、状況に応じた増便や電停での立哨(人員を配置し、乗降案内などを行うこと)などを行っている。

大規模コンベンション開催表示



実施時期 随時

説明

市などからの依頼に応じて実施。コンベンション参加者等で混雑する場合は、電停での立哨(=安全乗降のための警備や乗客誘導案内)や増便などの対応を行っている(写真は、外側板広告スペースを活用)。

函館・東北チャリティープロモーション



実施時期 平成25年6月22日(土)～23日(日)

説明

東日本大震災の復興支援や、函館市が中心となり東北・北海道の観光をはじめとする交流を深めることを目的に、函館市と北海道新聞函館支社が連携して実施している事業。会場は札幌市(大通公園)で、2回目となる昨年は、函館市の観光PRの一つとして路面電車開業100周年関連ブースを出展した。

5 その他写真等資料



電車乗車券(市電1日乗車券)



販売価格 大人：600円 小児：300円

説明

市電が1日乗り放題となる乗車券。
降車時に乗務員に提示し、使用する。
観光用に、路線図や観光エリアマップを綴じ込んでおり、一部の見学施設・レストラン・土産物店と提携しているため、各店舗等でこの乗車券を提示することで割引などの特典が受けられる。

電車乗車券(市電・函館バス共通1日、2日乗車券)



販売価格 1日乗車券 大人：1,000円 小児：500円
2日乗車券 大人：1,700円 小児：850円

説明

市電と函館バス(路線バス・エリア限定)が乗り放題になる乗車券。磁気カードのため、降車時にカード用精算機を通して使う。

電車乗車券(イカすカード)



販売価格(使用額) 1,000円(1,080円)
2,000円(2,200円)
3,000円(3,420円)
5,000円(5,800円)

説明

磁気カード。販売価格で購入し、使用額分まで利用できる。
降車時にカード用精算機を通して使う。

電車乗車券(トワイライトパス)



販売価格 大人：300円 小児：150円
(18時以降の車内販売のみ)

説明

1月上旬～3月下旬の期間限定販売。
18時以降、発行日当日限り市電が乗り放題になる乗車券。

電車乗車券(利用券)



販売価格(使用額) 500円(500円)

説明

各種御進物、お礼、お返しなどといった用途向けに販売。
御進物用封筒なども用意している。
乗車券として使用できるほか、払い戻し手数料の支払いにも利用出来るイカすカード。

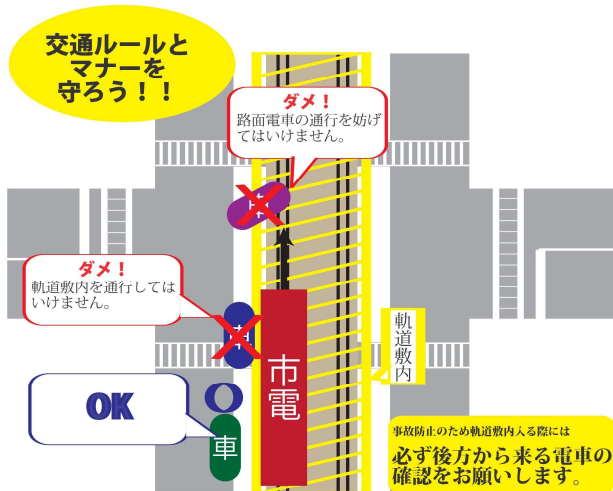
電車優先運行啓発リーフレット

譲って下さい市電の道を 定時運行の確保にご協力願います

市電は、一度に多くのお客様を運ぶことのできる定時性に優れた『人と環境にやさしいのりもの』として、見直されつつある公共交通機関です。

しかし、他の車両と平行して走行するため、特に交差点では青信号であっても、右折等の車両により軌道敷がふさがれ、市電の走行が妨げられる状況が数多く生じております。

市電の定時運行や接触事故防止のためにも、右折等の際に市電が近づいてきた際には軌道敷に入らず、その『外』で停車いただき、市電がスムーズに運行できるよう、ドライバーの皆様方のご協力をお願いいたします。



函館市企業局交通部安全推進課 TEL 32-1725



目指そう 市電と車の共存できる社会

ドライバーの皆さん

軌道敷内への直前進入は大変危険です

市電は、レール上を鉄車輪で走行するため、急ブレーキをかけてから止まるまでの距離が車に比べて長くなり、車などの障害物を避けて進むことが出来ません。

また、急ブレーキの使用は、市電のお客様に大きな衝撃を与えますし、接触した場合には双方に危険が生じます。

交差点や右折などで軌道敷内に入る場合には、バックミラーでの確認だけではなく、自らの『目で確認』していただき、軌道敷の『外』でお待ちいただくようお願いいたします。



市電が急ブレーキをかけてから止まるまでの距離(メートル)

		ブレーキをかけようとした時のスピード						
時速 km/h		10	15	20	25	30	35	40
車内人数	0人	5.0	9.1	14.3	20.4	27.8	36.2	49.2
	50人	5.3	9.9	15.6	22.7	31.1	40.7	51.6
	100人	5.7	10.7	17.1	23.1	34.4	42.9	57.3

※天候や軌道の状況などにより、これより長くなる場合があります。

※参考ですが目安として、電柱間の距離がおおよそ30mです。

函館市企業局交通部
Hakodate City Tram Department

説明

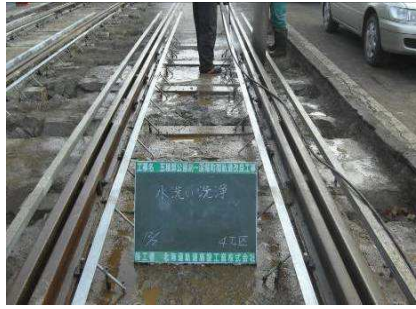
電車と一般車両の接触事故の減少に向けて制作。

これまで、年4回実施される全国交通安全運動にあわせた街頭での一般ドライバーへの配布、運転免許試験場への掲示と配布、市内主要自動車学校への配布と講習での活用、タクシー会社への配付などを行ってきた。

平成24年度には、より高い啓発効果を目指した新しいリーフレットを制作した。

軌道改良工事

【改良前】



【改良後】



説 明

軌道については、敷設後、25年以上経過しているために老朽化が著しい箇所が多いため、順次、維持修繕工事を行う必要があるが、これにあわせて制震性を高めるとともに将来の維持修繕費の軽減を目的とし、アスファルトからコンクリート道床へ変更、耐久性の高いレールへの交換、レールとコンクリート道床の隙間へのゴムパッキン装着などといった施工をし、軌道の改良を行っている。

分岐器改良工事

説 明

老朽化により、修繕費用が嵩んでいた末広町の分岐器について、現在、ほとんど使用せず良好な状態を保っていた千代台の分岐器を移設した。

【千代台分岐器の撤去工事】



施行前・分岐器および軌道の状態



撤去し、コンクリート施工する前の状態



施工後・コンクリート道床と隙間のゴムパッキン化

【末広町分岐器の撤去・千代台からの分岐器の移設工事】



施行前・老朽化の激しい分岐器の状態



分岐器を千代台から移設し、ポイントヒーター（凍結防止ヒーター）を設置している状態



施工後・見た目はあまり変化無いが、レール状態などは良好

安全地帯上屋設置工事

【施行前】



【施工後】



説 明

乗降客が雨雪に濡れることを防ぐ目的で、安全地帯に屋根を設置する工事。

函館では、道路幅が確保出来ない箇所が多いため、バリアフリー法に基づく安全地帯の幅(1.5m)の確保が困難であるが、乗降客の利便性と安全性を高める目的で、上屋設置工事にあわせて安全地帯のロープ化工事も行っている。

本計画期間中の平成22年度以降では、通学生の利用が比較的多い杉並町(平成22年度)に上屋を設置し、のりば環境の向上を図っている。

なお、函館市中心市街地活性化基本計画においては、函館駅から五稜郭公園前までの安全地帯をバリアフリー化し、デザイン性の高い仕様に改築する事業が予定されております。

駒場変電所関係改良工事



説 明

電車の運行のためには、北海道電力から購入する三相6,600Vの電力を直流600Vに変圧、整流する必要があるため、現在、駒場と東雲の2箇所に変電所を所有している。

そのうち、駒場変電所については、昭和42年製の機器を使用しており、老朽化が著しいことから、安定した運行確保のため、平成26年度より更新工事に着手しております。

電車車体改良

【車体改良後(800形→8000形)】



説 明

車両の老朽化対策の一つとして実施。本来は新車購入による更新が望ましいが、価格が高額であるため、800形電車の台車および制御装置等をそのまま活用し、老朽化した車体のみ更新し、費用を抑えつつ長寿命化を図っている。

電車車体大規模改修

【車体底面の状態】



説 明

2000形、3000形、8000形車両は、平成2年～8年にかけて購入した車両で、運行開始より20年以上経過しているために老朽化が著しい。このため、増加傾向にある修繕費を抑制するため、主要構造部分を補修することで長寿命化を図る予定としている。

主要停留場での乗り継ぎ

乗継停留場(所)

函館駅前(市電・函館バス)
 樺二森屋前(函館バス)
 五稜郭公園前【野村證券前】(市電)
 五稜郭(函館バス)
 湯の川(市電)
 湯倉神社前(函館バス)
 深堀町(市電・函館バス)

説 明

函館バスとの路線の乗り継ぎについては、指定された停留場でのみ可能。当日2時間以内有効となる「乗り継ぎ券」を発行する(イカすカードの場合はカードに乗り継ぎ情報を記録するため不要)。

乗り継ぎ方法は、最初の降車時に乗車料金+50円(乗り継ぎ料金)を支払い、乗り継ぎ後の降車時に区間に応じた追加料金を支払う(210円区間まで追加料金無し)。

車内ポスター

湯の川 深堀町 五稜郭公園前 函館駅前 でお降りの方は
函館バスへ乗り継ぎできます

ここまでの乗車料金 + 乗継乗車券を発行 → イカすカードの場合は
 乗継料金 40円 → 乗り継ぎ後、200円の 乗車券として使用できます
小児や高齢バスを乗車の方は20円
 ※乗継バスから市電への乗り継ぎも同じ取扱いです。

200円区間は乗継乗車券のみ → 200円を超える区間は差額も
 または イカすカード → または イカすカード
※函館市交通局

遺言や契約は公証役場で!! 定款認証は電子公証でもできます。
函館公証役場 相談は無料です。お気軽にどうぞ
 函館市若狭町15-7-51 TEL(0138)22-5661
(函館駅前・北2ビル6階)

説 明

函館バスとの乗り継ぎ方法について、わかりやすく図入りで説明しているポスター。函館バス(株)と協力し、路線バス車内にも同様のポスターを掲示することで、電車・バスの相互利用者への周知を図った。(現在は、一定の周知が図られたとの判断から、高齢者カードに関する説明ポスターを掲示している。)

路線図



実施時期
平成23年度

説明
海外からの観光客などの利便性向上策の一つとして、多言語化した路線図を作成。ホームページに掲載するなどしている。

表記している言語は、日本語、英語、ハングル文字、簡体字(中国)、繁体字(台湾)の5種類。

電停広報装置



説明

災害や事故による車両の運休や故障等による遅れのお知らせなどを行うため、全停留場に設置されている無線方式の広報装置。

津波警報の発令といった災害や緊急時における市民の誘導案内にも活用する予定としている。

インターネット等



説明

函館市は国内外から多くの観光客が訪れる観光都市で、スマートフォンやタブレットPCをはじめとしたWi-Fiによるインターネット接続可能な情報端末の急激な普及により、情報提供体制の構築や、平成27年度に予定される北海道新幹線新函館(仮称)開業により、増加が見込まれる観光客への受入体制の向上が課題であったため、函館市におけるWi-Fi利用環境の拡大を目的とした、Wi-Fi(公衆無線LAN)サービスを全市的に実施することになった。路面電車全線でのインターネット接続環境の整備は、国内初。

100円キャッシュバックサービス（はこだて自由市場）



説 明

はこだて自由市場と協力し、平成25年度から新たに開始したサービス。市電専用一日乗車券を自由市場で買い物をする時に提示すると、購入金額にかかわらず100円のキャッシュバックが受けられるほか、自由市場の各店舗での個別サービスも受けられる。

6 路面電車開業100周年記念関連



路面電車開業100周年記念イベント



実施時期 随時

説明

- 6/10
 - ◎ 200円均一運行(路面電車の日記念関係)
- 6/29
 - ◎ 100円均一運行
 - ◎ 復刻”大正時代の花電車”出発式
開業100周年記念セレモニー(駒場車庫構内 8:15～)
 - ◎ 100年間の電車大行進
100年以上前のササラ電車から最新鋭のらつくる号までが運行
(湯の川発 9:06 湯の川～松風町間を運行)
 - ◎ 臨100系統の運行
昔なつかしい車掌が車内改札を行います。
 - ◎ トワイライト写真撮影会(16:00～19:30)
駒場車庫内で電車の撮影ができます。
- 6/30
 - ◎ モーニング電車大行進
明治大正の街並みの中で市電が綺麗に交差します。
 - ◎ 臨100系統の運行
昔なつかしい車掌が車内改札を行います。

<その他、実施済の主な内容>

- 箱館ハイカラ號の運行回数を当てようキャンペーン
- 100周年記念「小学校紹介と子ども電車絵画展」
- 函館市電 開業100周年CMの制作
- 路面電車開業100周年記念キャッチコピー
「100年の歴史を乗せて夢・未来」を一般募集で決定
- 路面電車開業100周年記念車内放送チャイムを一般募集で決定
- 100周年記念の系統板による運行
- 100周年記念ロゴマークの決定

～函館路面電車開業100周年～「100年の歴史を乗せて夢・未来」 (歴史展示)



実施時期

- ・平成25年6月21日(金)～7月25日(木)
金森赤レンガ倉庫「BAYギャラリー」(BAYはこだて1号館)
- ・平成25年7月27日(土)～8月13日(火)
函館市中央図書館(展示ホール)

説明

企業局が所蔵する写真や廃部品・キャラクターなどを展示。入場無料。

函館 路面電車開業100周年記念出版 函館の路面電車100年



販売価格 1,785 円

説 明

街角の記憶がよみがえる懐かしい写真を多数収録した永久保存版！大正から平成まで、函館の街を走る路面電車の生誕から現在に至る100年の奇跡をたどります。100年の歴史、沿線風景の移り変わり、走行車両の解説、車両の変遷、沿線の名所、開業当日の新聞などで構成。

路面電車開業100周年記念市電1日乗車券



販売価格 600 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、大正時代の乗換券をイメージした市電専用1日乗車券を1,000枚限定で作成・販売(大人券のみ)。

路面電車開業100周年記念「ポスター2枚セット」



販売価格 1,050 円

説 明

路面電車開業100周年を記念して、ポスターを作成・販売いたしました。

鉄道むすめ 松風かれんをあしらったバージョンと300形や1000形など、かつて市内を走行していた車両の手描きイラストバージョンです。こちらの商品は2枚セットの販売。

路面電車開業100周年記念「クリアファイル3枚セット」



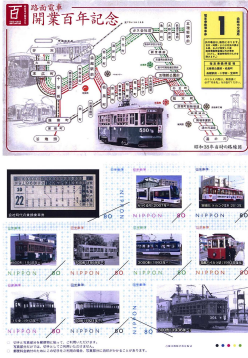
販売価格 1,050 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、クリアファイルを作成・販売いたしました。

- ・鉄むす 松風かれんと函館夜景
 - ・鉄むす 柏木ゆのと箱館ハイカラ號
 - ・500形のコントローラーと旧型車両
- こちらの商品は3枚セットでの販売。

路面電車開業100周年記念「オリジナルフレーム切手」



販売価格 1,500 円

説 明

路面電車開業100周年を記念し、オリジナルフレーム切手が販売されました。

函館市内および近郊の郵便局で限定販売。

1シートに80円切手が10枚。